
(株)cherir

今の社会と世界に対して
私達が新しい価値観を提供します。

9月11日付 3F 第3回IRレポート

contents

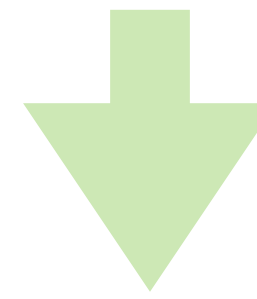
- p.3 企業説明
- p.5 活動報告
- p.8 商品について
- p.10 取り組み
- p.12 展示について
- p.13 コロナ対策
- p.14 社長挨拶
- p.15 今後について



企業理念

エシカル思考で
もったいないのその先へ
～無駄を無駄にしない選択を～

一般的なエシカル→ 倫理的・道徳的な言動や行動など(Googleより)



3F独自のエシカル→『無駄なものを無駄にしないで使用する』
まだ使えるものは使い切る、無駄を減らす

意識の増加・拡散

日用品としてエシカル商品を使うことでエシカルという言葉の関心を増やし、意識させていきます。

商品の提案

『無駄なものを無駄にしない』商品を提案します。

エシカルを体感

お客様にエシカルに対する展示などを見ただけで商品を買って使用していただくことでエシカルを体感します。

開発・販売

提案した商品を実現させ、販売します。

エシカルのサイクル

3Fのエシカルを、将来的に持続させていくために

“エシカルのサイクル”を提案し、私達はその第一歩を文化祭で担うことで幅広い世代にエシカルを広め、社会や世界において新しい商品の価値観を提供します。

活動報告

◆ 夏休みの活動報告

以前のレポートでご紹介した5班に加え、展示に使用するサイトを作成する展示班を含めた計6班で活動をしてきました。

五十嵐製紙取材班

フードペーパーの商品の製造元である(株)五十嵐製紙への取材班。取材ではフードペーパーの製造法やメリットデメリット、製造販売により削減できる木材の量などについて質問。さらに、クラスで販売するフードペーパー商品の付加価値と、当日展示する内容も考えた。

ミヤザワ株式会社取材班

バナナペーパーの商品を扱っているミヤザワ株式会社への取材班。取材では商品製造による環境と社会両面への影響や商品の製造理由、SDGs関連について質問。さらにクラスで販売するバナナペーパー商品の付加価値と、当日展示する内容も考えた。

活動報告

八百屋班

北品川の八百屋さんと連携し活動する班。八百屋の方に商品の原材料となる野菜をご提供して頂き五十嵐製紙に郵送。さらに八百屋の大塚様、さらに品川カブの生産をしていらっしゃる農家の村野喜安様にそれぞれ取材を行い、それぞれの野菜を無駄にしない取り組みや消費者にできる無駄を無駄にしない行動とは何かなどを取材を行う。取材をもとに家庭でできる野菜を無駄にしない方法を研究、実践中。

体験班

当日の体験企画担当班。体験企画を「無駄を無駄にしない4択ゲーム」「教科書による紙の廃棄量の可視化」に決定。当日に向けて調整中。

デザイン班

クラスTシャツのデザインを決定。また、当日のレイアウトを各班と情報共有しつつ検討中。

活動報告

展示班

サイト作成のため、各班から最大2人と取締役で構成された班。
企業説明，クラス企画・商品紹介，これまでの活動などを分担して作成。文化祭当日はQRコードを展示しその場で閲覧可能にする。

◆ サイトの必要性

作成理由として、サイトは宣伝効果が高く見込め、かつ模造紙に展示しづらい写真を幅広く掲載できるという利点があるからです。

さらに私達の作成するサイトの目標を「文化祭に来れない人にもエシカルを発信する」に定め、文化祭に来ない方にも無駄を無駄にしない活動を広めるために企画しました。文化祭後は一般向けに掲載します。

商品について

五十嵐製紙が販売している
廃棄野菜や果物を使った
メッセージカード



・五十嵐製紙 既成商品を
2種類12枚セット販売！
各種600円



・北品川の廃棄野菜をもとに作った
オリジナル商品を3種類×4枚＝12枚セット
販売！(写真はイメージです) 各種600円

商品について

ミヤザワ株式会社が販売している、バナナの茎を使ったバナナペーパーで作られたメモ帳とコサージュ



・メモ帳は3色を揃え販売！

各種550円

・コサージュは品女のシンボルの白薔薇デザインを販売！

価格1,000円



取り組み

◆ 野菜の再利用

八百屋班は取材をもとに野菜を無駄にしないための取り組みを研究中です。
内容は、八百屋班を「廃棄する部分を再利用し野菜を家庭で栽培する」
「野菜をどこの部位も無駄にすることなく全て使い切る」という2つに分け
それぞれが目標に沿って活動して文化祭当日には育てた野菜と研究した料理
レシピを展示する予定です。

◆ クラスTシャツの作成

文化祭当日に社員が着用するTシャツを作成。
青い部分を地球を表し、cherirの活動をもと
に環境を良くしていくという思いを込めてデ
ザイン班が作成。裏は社員の名前を記載して
います。



取り組み

◆ TVにて企画一部放送

五十嵐製紙が北品川の野菜を使用したフードペーパーを製造している時に、福井放送の取材訪問が行われ、私達の活動を合わせて取材を受けました。

企業体験のことやクラスの取り組みについて伝えたことが、9/2に放送されました。



展示について

◆ 展示方法

展示方法は各班ごとに得た情報を模造紙に書き展示します。また、使用した模造紙を無駄にならないように裏紙としての利用が可能なため文化祭後もクラス内で使用していきます。

◆ 動線について

来場者は時計回りで教室を回って頂く予定です。

コロナ禍というもあり、複雑な形の展示はせず売店や体験ブースも来場者が間隔を空けて見られるよう企画中です。

◆ 体験ブースについて

体験ブースはコロナ感染防止のため来場者，社員互いに触らないことを徹底します。内容は各班ごとに出题するエシカルなどに関する4択クイズ，紙の廃棄量を学生に身近な教科書で示すなど、情報の視覚化と来場者の関心を深めることに拘ります。

新型コロナウイルス感染症対策

◆来場者の方への対策

- ・ 動線をシンプルにし、お客様との接触を最低限にします。
- ・ 出入り口と教室内の複数箇所に消毒を設置し、常に衛生面を清潔に保ちます。

◆社員の対策

- ・ 金銭の授受は全て会計に設置したトレー上で行わせて頂きます。
- ・ 商品は封入，陳列の際にも消毒を行います。
- ・ シフトに入る社員は30分に1回の消毒を行います。
- ・ 社員はマスクの上からフェイスシールドを着用し当日に臨みます。
- ・ また、レジなどでお客様と近距離で対面する場にはパーテーションを設置します。

社長挨拶

株式会社cherirの社長を務めております。川上です。

新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な制約がある状況下で約4ヶ月間活動をしてきました。4ヶ月前のクラスを振り返ってみると自由に発言する社員は少なく、取締役の声のみが響いている話し合いばかりでした。しかし、次第に発言をする社員が増え一人一人に理念を達成しようという意識が強いものとなり、現在は企画成功へ向けてラストスパートをかけています。

文化祭までの残りの期間、社員一同全力を尽くして参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

今後について

◆ 班ごとに活動

各班ごとに得た情報をまとめ、共有した上で当日に向けて模造紙作成を始めます。

◆ 装飾・レイアウト

デザイン班中心に看板デザインや内装について議論，決定していきます。

◆ 社員育成

質疑応答に問題なく対応できるように全体での当日の具体的な流れなど情報共有を準備日に行う予定です。

◆ シフトの決定